

# 筑紫女学園報 Report

# 74



特集

この春、わたしたちが定めた  
「学園の将来ビジョン」への“想い”とは？

## 創立110周年に向けた 取り組みが本格スタート

学園だより

高校／陸上部・河村邦彦監督退任記念「感謝のつどい」を開催  
学園／各校で入学式・入園式を挙行 学園内で広がる募金活動 ほか

その教育 しなやかで、ゆるぎない。  
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園

検索

# この春、わたしたちが定めた「学園の将来ビジョン」への“想い”とは？

## 創立110周年に向けた取り組みが本格スタート

筑紫女学園に新たなシンボルマークが誕生したことをご存じでしょうか。これは学園の教育理念を発信するひとつの形として制定したものです。あわせて学園では、創立110周年に向けた新たな取り組みがすでに始まっています。そこで今回は、そうした取り組みを始動させることになった背景や経緯、そこに込められた“想い”について、笠信曉理事長に伺いました。

## Interview

笠理事長に伺いました

新たな取り組みで、  
筑女はどう変わりますか？

次代も輝き続ける  
総合学園として  
在るために

幼稚園、中学・高校、短期大学部、大学、そして大学院を擁する筑紫女学園は、人の一生に関わる教育を展開する総合学園として、2017年に創立110周年を迎えます。それは本学園が次代も輝き続けるための区切りであると同時に、通過点とも言えるでしょう。そのような中、これまで以上に社会の希求に添えていくためには、今ここで学園を取り巻く環境や学園の本

質、存在意義を改めて見つめ直さなければならぬ。そのうえで、教育を通じて次代も社会貢献を果たしていく私たちの姿勢を、よりの確に発信していく必要がある。そうした想いから、今回の新たな取り組みが始まりました。



▲「今回のシンボルマークやロゴの制定は、あくまで通過点。その先にある取り組みが大事だと考えています」と語る笠理事長。

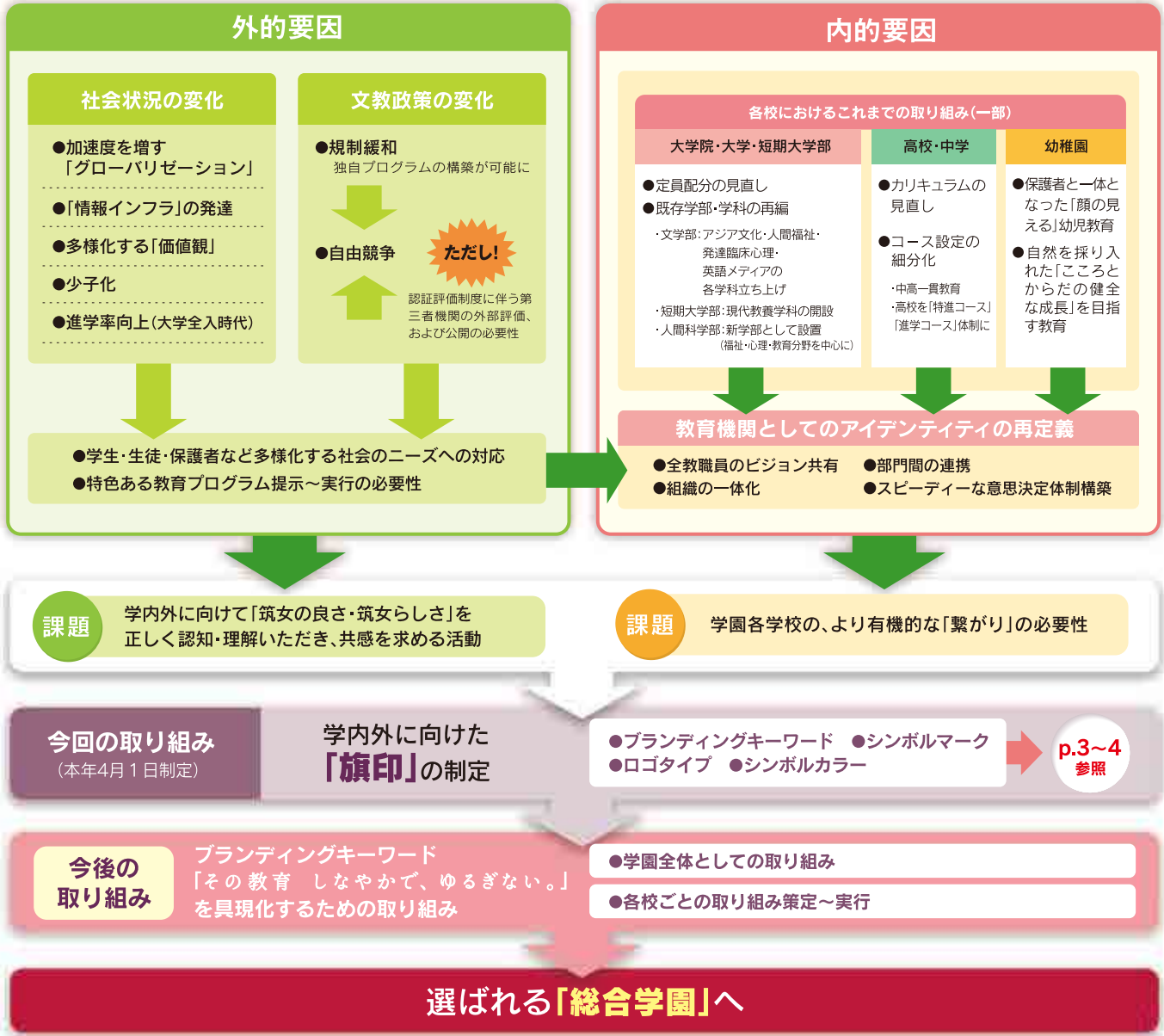
まず、社会のニーズに目を向けると、たとえば大学の場、その役割が研究機関から教育機関へと変わる中、約50%の人が進学する時代となり、ユニバーサル化の流れが待ったなしの状態となってきました。少子化の進展や価値観の多様化といった、社会が抱える諸問題にも向き合う必要に迫られています。

一方、学園内では、こうした課題に対し、教職員の皆さんが個々に懸命な努力を重ねてはきたものの、どこか細切れの感も否めず、一



▲JR博多駅構内で筑紫女学園の新たなイメージを展開中のデジタルサイネージ。3種類のメッセージが現れます。この他、福岡市営地下鉄七隈線・桜坂駅ホームの電照看板や同空港線・姪浜駅ホーム、太宰府市・梅大路交差点の看板などで展開中。また、本年3月27日付の主要新聞に今回の取り組みへの思いを掲載するなど、今後も様々なメディアをとおして発信予定。

■ 昨今の筑紫女学園を取り巻く「背景」と「今回および今後の取り組み」



p.3~4 参照

この学園でありながら、総合力を十分に発揮できているとは必ずしも言えないという認識がありました。総合学園として機能することができ、個々が力をふるうことができ、一方で個々がしっかりと問題を捉えることが総合学園としての価値を高めるといふ「循環」に繋がると考えます。

そこで、約2年前からさまざまな検証を開始し、筑紫女学園の「今」と「これから」を象徴するものとして、「その教育 しなやかで、ゆるぎない」というブランディングキーワードを制定しました。いわば、学園全体が目指す姿の旗印を掲げたわけです。また、新たにシンボルマークやシンボルカラーも決定し、今後、さまざまな広報物などに使用することで、学園内外に対し、筑紫女学園全体としての統一的なイメージの醸成を図ることにしました。

しかしながら、これらは自らの存在を世にアピールする一つの手段に過ぎません。学園をより強固にし、社会とのつながりをより密接にするためには、その先こそが大切だと考えています。

「しなやかで、ゆるぎない」「不易流行の理念を旨として」

では、「その教育 しなやかで、ゆるぎない」とは、どういう在り方なのか。順序は逆になりますが、「ゆるぎない」という言葉には、建学の精神である「親鸞聖人が明らかにされた仏陀(釈尊)の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育を永きにわたって堅持してきた本学園の歴史と実績への自負が込められています。ただし、それは同時に、本学園の人間教育が真に社会の役に立っているのか、形骸化してはいないだろうか、自らを厳しく見つめる姿勢にも繋がらなければなりません。そのうえで、いつまでも変化しない本質的なもの(不易)を忘れない中にも、新しく変化を重ねているもの(流行)を取り入れていく「不易流行」の試みが続けることが必要と考え、「しなやか」という言葉に繋がりました。

建学の精神に基づく「自律・和平・感恩」という校訓に表わされる人間の育成が本学園の使命。新たな社会への

## ブランディングキーワード

# その教育 しなやかで、ゆるぎない。

一人ひとりに寄り添い意欲を伸ばしながら個の強さを育てる「しなやかな教育」。建学の精神にもとづき、すべての教員が日々実践する「ゆるぎない教育」。筑紫女学園の教育に対する答えが端的に表されているものです。

### シンボルマーク

「C」と「J」をモチーフに  
コンセプトを具現化



CHIKUSHIの「C」と  
JOGAKUENの「J」で  
形成。  
流れるようなフォルムで  
しなやかさを表現しながら、  
胸を張り、大きく一歩を踏み出す  
躍動感あふれる女性を象徴しています。

### ロゴタイプ

コンセプトを具現化した  
新ロゴタイプ

## 筑紫女学園

CHIKUSHI JOGAKUEN

コミュニケーションコンセプトに基づき、  
柔軟さと誠実さを同時に表すために、  
独自に開発した書体です。

### シンボルカラー

「学校名」「建学の精神」  
「女性らしさ」を表した「紫紅」



"筑紫"に由来し、建学の  
礎である仏教をイメージさせる「紫」と、  
女性らしさの象徴である「紅」を  
ミックスしました。  
伝統と華やかさを共存させる学  
園全体のキーカラーとなります。

### 基本要素の組み合わせ

基本的なブランディングキーワード、シンボル  
マーク、ロゴタイプの組み合わせです。



### 校名ロゴタイプ(一例)

学校法人	筑紫女学園大学短期大学部
筑紫女学園	筑紫女学園高等学校
筑紫女学園大学大学院	筑紫女学園中学・高等学校
筑紫女学園大学	筑紫女学園中学校
筑紫女学園大学短期大学部附属幼稚園	

メッセージとともに、深く自己を見つめ、他者とのつながりに気づき、自分を生かすことのできる人間の育成に励んでいきます。

こうして原点に立ち返る中で明文化されたもの、それが創立110周年に向けた将来ビジョンと、教職員「行動規範」です。

特に行動規範は、私とともに

に進を止めることなく前進を続けることができ

に、大学院、短期大学部、中学・高校、幼稚園の学長、校長、園長が何度も熱い討議を重ねて策定したものであり、

今後は本学園の全教職員がこれを遵守しながら、さらに各組織ごとに具現化を図ることになります。既にプロジ

エクトチームも組織され、さまざまな改革の検討がスタートしました。この度の取り組みが教職員一人ひとりと

110周年に向けてと銘打ったのは、そのようにさまざまな立場で一緒に歴史を作ってきた皆さまに感謝し、次代へ邁進すること

として学園全体の課題を自分のこととして捉える契機となり、実感を持って動き出してくるものと確信しています。

「学ぶ」は「まねぶ」と言い換えることができます。つまり学ぶとは、手本に習うこと。尊敬に値する人には、さらにまたその背景に尊敬

### 人と人がつながる場へ それもまた学園の使命

学 園各組織の細部に至るまで改革を徹底するに

は、長期的な視点に立った取

## 筑紫女学園のVISUAL IDENTITY (VI) について

### コミュニケーションコンセプト

110周年に向けた取り組みのひとつとして、私たち筑紫女学園は新たなブランディングを行うことで、教育を通じ社会貢献を果たすその姿勢をより的確に発信することとしました。そして次の100年に向けて学園をより強固にし、社会とのつながりをより密接にするために、ブランディングキーワードやシ

ンボルマーク・ロゴタイプ・シンボルカラーを開発いたしました。これらのビジュアル・アイデンティティのもと、私たち筑紫女学園は、新たな社会へのメッセージとともに深く自己を見つめ、他者とのつながりに気づき、自分を生かすことのできる人間の育成に励んでいきます。

### ブランドメッセージ

#### 【 建学の精神 】

筑紫女学園は、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀(釈尊)の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育」を建学の精神としています。校訓は建学の精神を三項目にまとめて表したものです。

- **自律** (自己への目覚め)
- **和平** (他者への目覚め)
- **感恩** (生命への目覚め)

#### 【 使命 】

『建学の精神』に基づき筑紫女学園の使命を次のように制定しました。『建学の精神』のもとに、深く自己を見つめることを通じて他者とのつながりに気づき、あらゆる生命の恩恵に感謝しつつ、さまざまな課題を抱えた社会の中で、恵まれた<いのち>を生かし自分の役割を果たすことのできる人間を育成します。

#### 【 将来ビジョン 】

筑紫女学園は、創立110周年(2017年)に向けて、将来ビジョンを次のように制定しました。

- 一 建学の精神に基づき、<いのち>を大切に教育を実践します。
- 二 学園の"女子教育"を社会に発信していきます。
- 三 学園の総合力をより強固なものにして、教育改革を推進します。
- 四 "学生・生徒・園児"のための教育を第一に考え、ひとりひとりの成長をきめ細やかに支援します。
- 五 キャンパス整備を推進し、"学生・生徒・園児"の学びを支える環境を創ります。
- 六 学園での出会いを大切に、つながりの輪を拡げていきます。
- 七 "学園の教育力"を活用し、地域社会とのつながりを大切にします。
- 八 "福岡と世界とを結ぶ学園"として、国際交流を活発にしていきます。

#### 【 行動規範 】

筑紫女学園の教職員は、以下のことを日々実践します。

- (1) 『建学の精神』を尊重し、その具現化に努めます。
- (2) "学生・生徒・園児"たちの成長を第一の目標として行動します。
- (3) 目標を達成し、成果をあげる方法を追求します。
- (4) 自己研鑽に努めるとともに、協調性を持って業務に取り組みます。
- (5) 本音で語りあい、深く考え、大胆に行動します。
- (6) 透明性を第一に、コンプライアンス(法令遵守)を徹底します。

する人が存在するものです。在校生、卒業生、教職員はもちろん、本学園の力となつてくださった皆さまが「点」と「線」で繋がって行く場として存在することもまた、総合学園としての教育機関である本学園の使命であると考えています。それができるか否かを問われているという実感も、建学の精神に立ち返る大きな原動力になりました。

### 日々の学びと社会貢献への願いを重ねられる場へ

と はいえ、まだまだ本格的な取り組みについては、スタートしたばかりです。現状では、各組織の一人ひとりが、これから具体的に何を成していくべきか、道を探し始めたところですが、けれども、全体としての方向性は明確化されつつあります。それは、本学園が、単に上位校への受験成功や資格取得を目指すだけの場ではなく、今まで以上に、人としての在り方を学ぶことのできる場となつていくという事です。学ぶことで社会貢献への願いを重ねられる人間へと成長できる場

として、有形無形の体制を整えていくために共有すべき意識はすでに醸成されています。

また、東日本大震災にみまわれたこの春は、在校生も学ぶことへの思いを新たにしたのでないでしょうか。当たり前前の生活や学べたことへの有難さを改めて感じたことと思います。使命とは、人間にとって一番大切な「命」を使うと書きます。言うまでもなく、生徒や学生の使命は、懸命に学び、人として成長すること。学生にもまた、使命への向き合い方が問われていると言えるでしょう。

大きくものを動かすには同時に大きな困難を伴いますが、逆に大きいからこそ一旦動き出せば素晴らしいエネルギーが生まれます。本学園は今まさに、創立110周年へ、次代へと本格的に動き始めました。そのスタンスは「不易流行」。学園全体でしっかりとスクラムを組み、建学の精神に基づき人間教育を、「しなやかにゆるぎなく」展開してまいります。

学園だより

# 学園総合

Contents

- News / 陸上部・河村邦彦監督退任記念「感謝のつどい」を開催
- News / 各校で入学式・入園式を挙行
- News / 学園内で広がる募金活動／被災地の子どもたちに絵本を！



高校

## 陸上部・河村邦彦監督

### 退任記念「感謝のつどい」を開催

40年間の労を  
ねぎらって…

40年間、本学園高等学校陸上部の指導にあたられ、全国高校駅伝3度の優勝をはじめ、数々の栄誉を本校にもたらしていただいた河村邦彦監督が、本年3月31日をもって退任され



▲450名を超えるご出席を得て催されました。

ました。そこで、河村監督の労をねぎらうと同時に、今年1月の『第56回西日本スポーツ賞』受賞および著作『筑紫女学園とともに40年』出版を記念した「感謝のつどい」が、4月2日の18時よりホテル日航福岡にて陸上部OGの主催で開催されました。

この日はまず初めに、河村監督の足跡をまとめたVTR上映で幕が上がり、4月2日の18時よりホテル日航福岡にて陸上部OGの主催で開催されました。

「本学園に活気、勇気、誇りをもたらし続けた監督。日々の指導の中で、生徒たちの自主の精神を導き出している。ただ、先生が優れた教育実践家であることを



▲得意即妙な司会ぶり、場をあたたく盛り上げてくれた橋本志穂さん(写真左)。中央は平成20年卒のOG、田中華絵さん。

だいた時は、厳肅なパーティーと思っておりましたが、気軽に楽しく進めていけそうですね」との感想でさらに場が和んだところで、いよいよ河村監督ご夫妻が喝采に包まれての入場です。

感謝あふれる  
祝辞とスピーチ

が始まると、まずは発起人代表挨拶として鯉川なつえさん(平成3年卒・陸上部OG・順天堂大学准教授)からの「勇退されるのが信じられない思い」とのコメントに続き、ご来賓からご祝辞を賜りました。

感じておりました。今後はそんな先生の恩に報いていきたい」とは松崎秀典高等学校校長の弁。次いで、監督の恩師にあたる金森勝也福岡大学名誉教授からは、河村監督が常に誠実無私でいらしたことを証明する様々なエピソード披露が、さらに、澤木啓祐日本陸上競技連盟副会長からは、河村監督のトレーニング法などに対し、称賛のコメントが贈られました。

そして、寺崎史記さん(平成2年卒)や宮崎安澄さん(平成5年卒)、長尾育子さん(平成12年卒)ら陸上部OGと、現役部員による花束贈呈の後、河村監督によるご来場の皆さんへのお礼の言葉へ、監督は、今回の出版や受賞に対して、さらには奥様をはじめとするご家族すべての教え子たち、このつどいの実現に奔走してくれた多くの皆さんへの感謝の弁を述べられました。

あなたかな空気に  
満ちた2時間30分

その後、河村監督を本校に招いた井浦順爾前理事長による乾杯のご発声をもって、歓談タイムへ。昔話に花が咲く各テーブルを河村監督自ら回ってご挨拶される中、ステージでは、山下佐知子第一生命陸上部監督をはじめ、何人もの方が、河村監督との思い出やメッセージを語られました。

締めめの万歳三唱のご発声でもある九州国際大学付属高校陸上部の酒井寛監督。「私たちも先生に鍛えていただきました」とのコメントに次いで、場内全員で高らかに万歳三唱を唱えた後、

森田慶子さん(昭和56年卒・陸上部OG)の閉会の辞をもってお開きとなりました。

河村監督の今後のご健勝を念ずるとともに、本校陸上部は監督の教えを胸に、さらに精進を重ねていきます。これまで本当にありがとうございました。

#### 河村監督の本学園における主な功績

- 全国高等学校女子駅伝競走大会出場 出場18回 優勝3回(全国最多)
  - 九州高等学校駅伝競走大会出場 出場22回 優勝8回
  - 全国高校総体インターハイへの出場生徒 120名(延べ209名) 優勝5種目
  - 国民体育大会への出場生徒 41名(延べ61名) 優勝8種目 19名(延べ40名)
  - 国際大会日本代表への出場生徒 19名(延べ40名)
- 主な受賞歴
- 日本陸連 平沼亮三章 (平成13年)
  - 日本陸連 秩父宮章 (平成14年)
  - 西日本スポーツ賞 (平成4年・12年・15年・23年)
  - 九州記者クラブ表彰 (平成15年・23年)



▲震災の影響で、当日午前11時に会場へ直接納品されたという河村監督の著作「筑紫女学園とともに40年」。40名のOGによる寄稿も収録。

# 学園

## 各校で入学式・入園式を挙行



▲中学・高校講堂にて行われた中学入学式。



▲大学院、大学、短期大学の入学式は福岡国際会議場で開催。



▲同じく中学・高校講堂にて、同日午後に行われた高校入学式。



▲今年度は70名の新入園児を迎えた幼稚園のひとコマ。

学園では4月4日に大学院・大学・短期大学部、4月8日に高校・中学の入学式を、4月13日に幼稚園の入園式を行い、合計1,768名の新生を迎えました。特に大学では今年度より開設された人間科学部に第一期生294名を迎えてのスタートとなります。また、大震災後ということで、各校開式の前に被災地に向けて黙とうを捧げる

3月11日に発生した東日本大震災では、東北・関東地方をはじめ各地で深刻な被害が発生しており、その光景をテレビ等の報道で目にするたびに心を痛めるばかりです。被災され、尊いいのちを失われた方々に深く哀悼の意を表します。今後、被害の拡大が防がれ、一日でも早く復興が進むことを念じてやみません。このたびの震災に対し、少しでも支援に関わってほしいとの思いから、本学園では学生・生徒を中心に様々な募金活動を行いました。

大学院・大学・短期大学部では、学友会CJBA聖歌隊に所属する学生たちが中心となって、3月18・19日の卒業式と修了式、さらに、4月4日の入学式において募金活動を実施しました。

高校・中学では、感謝日に校内で行う献金のほか、150人以上の生徒たちが、3月22日から2週間にわたり、天神の街頭で募金活動を実施しました。生徒たちからは、「何かやらなければ」という気持ちで、居ても立っても居られなかった「募金活動をしてみて、人のやさしさ、協力のありがたさを体感できました」との感想が寄せられました。

また、幼稚園でも、3月16日の卒園式、17日の終園式、さ

東日本大震災の被災地に向けて…  
学園内で広がる募金活動

らに、4月13日の入園式において、募金活動を実施しました。園児たちも参加し、小さな手から思いのこもった募金が寄せられました。

お寄せいただいた義援金は、福岡県、福岡市、日本赤十字社、現地NPO法人等への送付を予定しています。なお、募金結果につきましては適宜、学園ホームページ等とおして報告させていただきます。学生、生徒、園児一人ひとりの行動が、被災者の皆様に届くように願っています。

また、幼稚園でも、3月16日の卒園式、17日の終園式、さ



▲大学および短期大学部で学友会CJBA聖歌隊を中心とした学生有志が入学式会場にて行った募金活動の様子。



▲高校・中学では、有志の生徒たちが2週間にわたって福岡(天神)駅前で募金の呼びかけを行いました。

筑紫女学園では引き続き東日本大震災被災地支援の募金を受け付けています

【振込先】福岡銀行 太宰府支店 普通 1202883 学校法人筑紫女学園義援金口  
※福岡銀行の本・支店の各窓口からお振込みいただく場合、振込手数料は不要です  
【締切】平成23年7月1日(金) 【お問合せ先】法人本部事務局 総務課 ☎092(925)9918

被災地の子どもたちに絵本を！  
「テレビでもえがおプロジェクト」へ約1,000冊の絵本を寄贈

本学園大学・短期大学部では、東日本大震災で被災した子どもたちに少しでも元気を取り戻してもらいたいという思いから、テレビ西日本(TNC)が企画する「ひとつになるう日本 テレビ西日本」でもえがおプロジェクトを通じて、絵本や児童書など約1,000冊を寄贈しました。

これらの本は、本学が平成16年から5年間福岡市天神のイムズビルで子育て支援を目的として開設した「みんな塾」で使用していたもので、本学生涯学習センターからの申し出により寄贈が実現しました。今回の寄贈に当たって、学生たちにも手書きのメッセージカード記入を呼びかけたところ、230名を超える大学・短期大学の学生たちからイラスト入りなどの多くの励ましの言葉が寄せられ、絵本と一緒に梱包して送りました。

このTNCが行ったプロジェクトでは、4月4日から16日にかけて行った街頭での呼びかけなどにより、合計20,000冊を超える絵本が集まり、岩手県のNPO法人等で構成される絵本プロジェクトいわてをとおして、被災地の子どもたちへ届けられるそうです。

「みんな塾」で子どもたちを喜ばせた絵本が、今度は被災地の子どもたちの笑顔と、1日も早い復興に繋がることを念じています。



▶実際に寄せられたメッセージの一部。



▲被災地の子どもたちにメッセージを寄せる学生たち。

# 「学ぶ」は一生の宝

## 生涯学習のススメ

Information for Lifelong Learning Center

公開講座  
レポート

### 中村ユキ氏講演会

## わが家の母はビョーキです

～家族の絆と回復への道すじ～

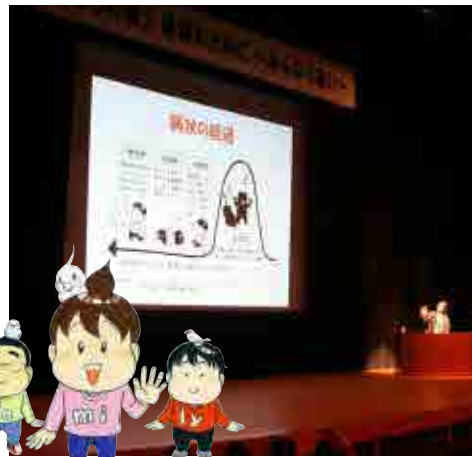
「統合失調症」など  
精神障がいへの  
正しい理解を求めて

2月26日(土)、福岡市立西市民センターにおいて、生涯学習センター主催による公開講演会「わが家の母はビョーキです」が家族の絆と回復への道すじ」を開催しました。講師にはマンガ家の中村ユキさんをお招きし、ご自身の経験をとおして精神障がいへの理解について分かりやすくお話しいただきました。

中村さんはご自身が4歳の時、お母様が「統合失調症」を発症され、以来約30年間ともに生活をしてこられた

したが、当時「統合失調症」についての正しい知識は家族にも周囲にもなく、病気について正しく知ったのは数年前。中村さんはお母様とのいろいろなエピソードをまじえ、周囲の方々の理解や正しい投薬で回復することを知って欲しいと強調されました。

今回の講演会は、福岡市の精神障害支援施設や当事者の方々の組織される実行委員会が毎年開催している「こころの病」～理解のために～



【講師】中村ユキ氏 ●マンガ家。講談社週刊マガジン新人漫画賞佳作。著書に「わが家の母はビョーキです」「我が家の母はビョーキです2-家族の絆編」(ともにサンマーク出版)がある。大阪府出身。



▲中村先生が生み出したキャラクターたち。

んなの集い」の第1部を、筑紫女学園大学の公開講演会として開催させていただきました。人間福祉学科で学ぶ学生が、事前準備や当日の司会進行・運営などに参加しました。なお、この講演会は人間福祉学科としての最後の催しになりました。

800席ある会場はほぼ満席で、このテーマへの地域の人たちの関心の深さうかがえました。講演会とおして、精神障がいへの正しい理解がさらに深まればと思います。

【天学人間科学部人間科学科 小山宏子】

2011(平成23)年度 前期

## 筑紫女学園大学 公開講座

受講料無料

	講座名	講師・主催等	開催日時	会場	対象	内容
体験講座	ガムラン・ワークショップ ～音楽によるともいき～	・サブトノ (インドネシア国立芸術大学 ヨグヤカルタ校教授) ・田村 史子 (文学部准教授) 主催/アジア文化学科	② 6月 5日(日) ③ 7月17日(日) 【初心者コース】 各10:00～12:00 【プラティウィ】 各14:00～16:00	筑紫女学園大学 飛翔会館3階 スクワーヴァティー ホール	【初心者コース】 一般 30名 ※各回完結、複数回受講可 【プラティウィ】 一般 20名 ※本格的に演奏したい方 (小学生以上)	インドネシアのジャワの合奏音楽「ガムラン」を演奏体験します。最終回は、現地の一流の演奏家が指導にわり、ともに演奏する素晴らしい体験していただきます。 【初心者コース】 いろいろな方々にガムランを楽しんでいただきます。参加するのには条件はありません。聞いているだけでもかまいません。 【プラティウィ】 本格的にガムランを演奏したい方々のコースです。
公開講座	第14回 仏教文化講座 「親鸞 ～その著述をめぐる～」 ①「正信念仏儀」 ④「顕浄土真実教 ②「三帖和讃」 行証文類 ③「親鸞聖人御消息」 ⑤「数異抄」	②平 孔龍 (本学国高等学校教諭・大学非常勤講師) ③栗山 俊之(短期大学部准教授) ④小山 一行(文学部教授) ⑤宇治 和貴(人間科学部講師) 主催/仏教学研究室	②6月 8日(水) ③6月15日(水) ④6月22日(水) ⑤7月 6日(水) 各19:00～20:30	太宰府市いきいき 情報センター (太宰府市五条3-1-1)	一般 各70名 (募集終了しました)	本年は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の750回大遠忌にあたり、我々日本人は、聖人のご往生以降、750年以上にわたってその教えをいただいていたこととなります。今年こそ、親鸞聖人の説かれた教えを、聖人ご自身のお言葉を頼りに味わってみませんか。
体験講座	こころのオシャレ教室 ～押し花で遊ぶ～	板井 修一 (人間科学部教授、臨床心理士、 園芸療法士)	①6月11日(土) ②6月18日(土) ③6月25日(土) 各10:00～12:00	筑紫女学園大学 8号館1階 8107教室	一般 20名 (募集終了しました)	身近にある季節の草花を材料に、「押し花」の簡単な作品を作ります。自分で摘んできた草花が、きれいなキーホルダーや葉の「押し花」作品に変身するのは感動です。植物で遊ぶことで、疲れたこころの元気を取り戻しましょう。 ※材料費として、初回に500円を徴収します。
体験講座	体感する言葉の力	・宇佐美 陽一(崇城大学教授) ・中村 テーマ(文学部教授)	6月11日(土) 13:00～15:30	筑紫女学園大学 2号館B1階 2B04教室	一般 40名	皆さんは誰かと会話する時に、言葉といっしょに何気ない仕草をいませんか?そんなカラダのなかには「言葉の力」に耳をすまして、体感してみましょう。外国語教育と身体表現の専門家が皆さんのお手伝いをします。 ※講座はワークショップ形式です。 ウォームアップも含めて、軽い運動をしますので動きやすい服装でご参加ください。
公開講演会	水俣学のとびら	原田 正純 (元熊本大学体質医学研究所助教授・ 前熊本学園大学社会福祉学部教授) 主催/現代教養学科	6月25日(土) 14:00～16:00	エルガーラホール 7階中ホール (福岡市中央区 天神1-4-2)	一般 100名	水俣病発生当初から医師として水俣に関わり、熊本学園大学において「水俣学」を開講された原田正純先生をお迎えし、総合的テーマである水俣学について考えます。

お申込み・お問合せ 筑紫女学園大学生涯学習センター TEL/092(925)9685 FAX/092(925)3573  
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目1-1 Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法 ハガキ・FAX・Eメールまたは  
本学ホームページ(<http://www.chikushi-u.ac.jp>)より

\*お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(ふりがな)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。\*お預かりした個人情報適切に管理し公開講座の運営以外に使用することはありません。  
\*定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承ください。



# 法海

— 今回のテーマ —  
**博多萬行寺と  
 龍華孤児院**

このたびの東日本大震災はこの国に大きな災禍をもたらしましたが、日本では過去、こうした災害に見舞われた際、仏教徒などの宗教関係者が救援活動や慈善事業に力を尽くしてきました。今回のこのコーナーは、そうした活動のルーツに迫ります。

## 明治時代の 大災害時における 慈善事業と仏教徒の 活動を紐解くと…

**去**る3月11日に発生した東北北関東大震災は、

1カ月を経過しても未だその被害の全貌がつかめないほどの広範囲で深刻な惨禍をもたらしました。加えて巨大地震と大津波がその引き金と言われますが、東京電力の福島第一原子力発電所の事故は、この震災の性格を複雑なものとし、世界も注視するなか、事故炉の制御の見通しを含めて、歴史上未曾有の課題を突きつけているようです。

地震発生直後の報道で、とりわけ衝撃を受けたのは押し寄せる大津波が堤防を乗り越えて、海辺の家々や

車や町を瞬く間に飲み込んでいく目を疑うような光景でした。そして、その時ふと思い起こされたことが、1896(明治29)年の三陸大津波と震災孤児たちのことでした。この大津波については、過去にこの地方を襲った前例として報道でも触れられていましたが、さらに、その少し前の1891(明治24)年10月には、濃尾地方に大地震が起こり、岐阜県を中心に1万5,000人を超える死傷者が出ています。その後起きたこの三陸の大津波では、岩手県を中心に宮城、青森と合わせて3万人近くの死傷者を出しています。



▲大正期の龍華孤児院。

災者たちへの種々の救援活動を呼び覚まし、とくに震災孤児の救済は、この国の近代育児事業の起点の一つともなりました。そして、これらの救援活動には仏教やキリスト教の各種の団体や寺院、僧侶たちがそれぞれ一隅での役割を担っています。一例を挙げれば、明治初期の仏教慈善施設を代表する福田会育児院でも十余名

の震災孤児を引き取ってその養育にあたりました。  
**福岡の近代慈善事業の発祥  
 龍華孤児院と  
 萬行寺・七里順之師**  
 ところで、この福岡の地で近代慈善事業の起点を成すのは博多の浄土真宗本願寺派萬行寺の住職であった七里順之師が創設した

「龍華孤児院」という育児施設です。高僧の誉れ高かった父恒順師の遺志を継いで、寺内にあった学寮を院舎に充てて、三陸大津波から少し後の1899(明治32)年7月に開院されています。その開始当時の入所児は9名ほどですが、同じ年、産炭地筑豊の田川郡で起きた豊国炭坑でのガス爆発事故の犠牲者(死者210人)たちの遺孤児4名がその中には含まれています。

その設立の趣意書には、「世に不幸なる類い数多かるべしと雖もその幼くして早く父母に別れて頼る辺なき孤児又貧困にしてその子を鞠育すること能はざるほど悲惨なるはなかるべし」と述べられ、「慈悲博く施し仁愛兼濟ふは仏陀の教ふる所」であって、「大悲の心を体すへき」我等仏教徒がこれを「傍觀黙視」しておけるだろうかとの問いかけ、「希くは同情の諸君不幸頼る辺なき孤児と之に類する貧兒を見聞し玉は、速に本院に通告せられんことを」と訴えています。

さて、このような仏教徒の社会的実践は、もちろん慈善や社会事業の分野に限られたものではありません。

また、こうした慈善活動が、つねに何らかの災害をきっかけとして取り組まれてきたわけでもありませんが、慈悲の教えを導きの糸として、生活の日常、非日常のなかで苦難に直面する人々への仏教徒の社会事業活動は、この国の福祉基盤を構成するひとつのルーツをなしています。その足跡が記録に遺されている資料類を蒐集・選定して、近く『戦前期仏教社会事業資料集成(全14巻・不二出版で発行予定)』を順次刊行していく予定です。

### 今回の執筆者

本学文学部人間福祉学科教授  
**高石 史人**

主編著に『筑豊の孤老たち—19の証言』(1979年)、『福岡県社会福祉事業史・上巻』(1982年)、『靖国問題関連年表』(1990年)、『仏教福祉への視座』(2005年)など。



※「法海」とは、仏法の広大なことを海にたとえている言葉です。

# 大学・短期大学部

Contents

- NEWS / 「実習支援センター」を開設しました
- NEWS / 5月9日、「天神キャリアセンター」がオープンしました
- 就職の筑女 / 那珂川町役場・真鍋美奈子さんの巻



## 「実習支援センター」を開設しました

### 人間科学部の動きに連動した機関として

### 激

しく変化する現代社会では、少子高齢化や核家族化、人間関係の希薄化、孤立化などの諸問題が生じています。こうした社会で求められる資質や能力は、問題解決力や互いを尊重し合う協調性、心豊かな



▲広くとられた学生のワークスペース(手前)と窓口カウンター(奥)。

### 学生の資質向上に役立つことを目的に

「センター」は、新学部開設の動きに合わせて検討され、平成22年度に発足した準備委員会を中心に、本格的な開設準備が進められ、本年4月1日に産声を上げました。

### 七

センターは、国家資格・免許状の取得に係わる教

資格取得支援以外に学外実習支援や指導も

### 七

センターの特徴は、資格取得のための支援や指導はもちろんですが、教職、保育士、社会福祉士、博物館学芸員等の守備範囲の広い学外実習の支援や指導を行うことです。そのために、センター内をカウンターで、事務スペースと学生スペースに仕切り、学生が、教職員に気軽に相談できる構造になっています。

人間性です。これは、教育の不易の部分であり、本学の建学の精神である浄土真宗の教えを基盤として進めてきた教育そのものであるといえます。そこで、本学では、現代社会に潜む人間関係の諸問題を、学際的な観点から解明し、社会に貢献できる有為な人材を育成するために、本年4月に人間科学部が新設されたところです。実習支援センター(以下「センター」)は、新学部開設の動きに合わせて検討され、平成22年度に発足した準備委員会を中心に、本格的な開設準備が進められ、本年4月1日に産声を上げました。

そこで、具体的には、

- ① 幼・小・中・高校の教育職員免許状取得
- ② 保育士資格取得
- ③ 博物館学芸員資格取得
- ④ 社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格取得
- ⑤ 学外ボランティア活動に関わる支援

を主な内容とします。

そして、自主学習やグループ活動ができるように学生スペースを広げ、取り、各種実習に関する資料、国家資格や免許状取得に関する資料、先輩学生による実習記録、情報検索用のパソコン4台を設置しています。今後、センターでは、学生の利用効果が高まるように条件の整備に努め、全ての学生が、資格や免許状を取得し、希望する職に就くことができるように支援や指導の充実を図りたいと思います。

## NEWS 5月9日、「天神キャリアセンター」がオープンしました

### 卒業生・在学生の就職活動を継続的にサポートします

本学ではこのたび、卒業生および在学生、特に卒業後も就職活動を行っている方のサポートを行うこと、さらに天神地区を拠点に各企業と大学のネットワーク構築や情報収集を行い、キャリア形成を強力にバックアップしていくことを目的に、「天神キャリアセンター」を開設しました。こちらのセンターでは、



① 就職活動中の学生や就職活動継続者の情報収集、交流  
② 求人開拓・受付の拠点  
③ 行政機関等とのネットワーク構築  
④ OGGとの面談の場所の提供  
⑤ 保護者の相談受付窓口  
⑥ 卒業生の就職紹介登録カードの設置  
⑦ 学校案内パンフレット、学園報などの広報誌の設置

**ACCESS**

●所在地 / 福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル7F (アクロス福岡前)

●開室時間 / 平日(月~金) 10:00~18:00  
※本学日程により変更することがあります

●お問合せ / ☎ 092(715)0340

# 就職の筑女

O.Gと上司に伺う「筑女生のこと」

VOL.  
19

那珂川町役場

住民生活部環境防災課 リサイクル推進担当  
眞鍋 美奈子さんの巻

本学卒業生をご採用いただいている企業へ伺うこのコーナー。今回は、「自然と人がとけあう活気あふれるまちなかがわ」という将来像を掲げてまちづくりに取り組む那珂川町役場で活躍中の本学O.G、眞鍋美奈子さん、そして上司の入江省二さんにお話を伺いました。

筑女で見つけた夢を叶えて  
充実した毎日を送っています

まちづくりへの熱い思いで  
リサイクルを推進

先生方に両立をバック  
アップしていただき：

上司の方に  
伺いました

2年目にして早くもエース  
とても頼もしい存在です

那珂川町役場

住民生活部環境防災課  
係長 入江省二さん

この職場が求めるのは  
知識や経験を貪欲に  
吸収しようとする人

この4月から眞鍋さんの上司になりましたが、それまでは机を並べる先輩の一人。彼女の働きぶりにいたく感心していました。

私たちの仕事はNPO法人の方々と接する機会が多いのですが、昨年は、眞鍋さんが現職に就いて1年目と聞くと、皆さんとても驚かれたものです。自分の意見を持ち、上手に説明をする様子はすでにベテランの域でした。しかしその秘密も、彼女が高校時代、円盤投げでインターハイまで行ったと聞いて納得。一つのこと打ち込んだ経験と充実した大学生生活が彼女の礎になっているのでしょう。今は上司として、とても頼もしく感じています。

私たちの仕事は法に基づいて行う業務がある一方、自分で考え、作っていきける自由度も少なくありません。彼女なら、与えられたことをこなすだけでなく、自ら仕事を生みだしていただける。今年は後輩を指導しなければならぬ立場です。2年目ではまだ分からないこともたくさんあるでしょうが、皆とスクラムを組んで頑張ってくれ、ものと期待しています。



▲那珂川町役場は、住民の方への親身な対応が信条ですと入江さん。

筑女には、彼女のような人を育む環境が整っているでしょう。そのような環境を最大限に活かしながら、学生時代から人の話にきちんと耳を傾け、理解し、自分なりの意見を話せるように心がけていけば、堂々と面接試験に臨めるのではないかと思います。

また、大切なのは、知識や経験を貪欲に吸収して自分のものにしていくという意識。業務内容が多岐に渡るため、異動になると全く新しい分野の仕事に取り組む日々が始まる行政の仕事には不可欠なことです。

社会人になっても勉強はし続けなければなりません。ですから、学生時代から学が姿勢をしっかりと身につけておいてください。筑女から、眞鍋さんに続くエースが出てくることを願っています。

## 今回の職場

- 職場名：那珂川町役場（福岡県筑紫郡）
- 設置：昭和34年4月1日町制施行
- 職員数：274名（平成23年4月1日現在）
- 平成23年度新規採用職員：15名

▲Profile●平成22年、大学・人間福祉学科卒の眞鍋さん。「公務員を目指すなら強い気持ちを持ち続けることが大切。周りを気にせず、自分がすべきことにしっかり向き合えば、必ず夢は叶います」と語る。

「子どもたちが楽しかった」「僕もやりたい！」って言うってくれるんですよ。とは、仕事の喜びを尋ねた時の眞鍋さんからのコメント。彼女は現在、那珂川町役場で、主にリサイクル推進の啓発任務を遂行中です。町民を対象に平成22年度から「段ボールコンポスト」講座を実施しており、その際に参加者の方からゴミ問題へ積極的に取り組む声が聞かれると、とてもやりがいを感じると話してくれました。

眞鍋さんからは、まちづくりへの熱い想いと、子どもたちの健やかな成長への願いが伝わってきます。そんな彼女が現在の道へ進むと決意したのは大学3年の時。以前から関心を持っていた児童福祉のゼミに入ったことがきっかけです。

「私は子どもが大好きで、入学当初は体育教師を目指していたのですが、ゼミの先生に行政が児童福祉の先頭に立っていることを教えていただき、方向転換。卒論に取り組みながら、公務員専門試験突破を目指すことにしました」

「とはいえ実際、卒論と公務員試験用の勉強の両立には、気力も体力も必要でした。私が夢を叶えられたのは、筑女時代の恵まれた環境のおかげです。たとえば、ゼミの先生からは卒論の相談だけでなく、面接時のアドバイスをいただいたり、進路支援課の職員の方からは、公務員講座の案内や履歴書の書き方を指導していただきました。視野を広げることができたのは、多様な対応が求められる福祉を筑女で学べたからであり、進路支援課の方の「幅広い見方を」というアドバイスも、今の私につながっています」

最後に「後輩へのメッセージを」とお願いすると、「公務員を目指すなら、一次試験突破のために得意科目を持つこと。それがないと心が折れてしまいます。また、人とのコミュニケーションの取り方が体得できるボランティアにも参加を。筑女には募集がたくさん来るので、ぜひ活用してください」と眞鍋さん。夢を叶えて先を歩む先輩は、筑女生の輝く指針です。



# がんばるクラブ

Vol.15

高校  
バスケットボール部



それぞれの活動に充実したときを重ねる生徒たちのようすをお伝えするこのコーナー。今回は、試合へ向けて練習に熱が入るバスケットボール部におじゃましました。

## 伝統の守備と走りを磨いて勝利へ。 声を掛け合い、全員プレーで戦います！

「筑紫ファイツ！ファイトがんばろう！」  
気合いの入った声が体育館に響きます。マネージャー含む部員全員が手をつないで黙想し、集中力を高める「円陣」は、部に代々受け継がれる大切な時間。練習や試合前に必ず行うとのこと。

春から夏にかけては、九州大会やインターハイなど大きな試合が続く時期。対一の守備と攻撃、シュート、ランニングなどの練習に部員たちは息を弾ませていました。

「相手に攻めさせない守備で勝負したい。攻撃では一人ひとり走り負けないこと。技術はもちろん、鍛えたいのはメンタル面です。キツくて気持ちが折れそうな時ほど自分に負けないようにしないと、

相手に挑めません」と意気込むのは部長の又野花奈さん(3年)。ゲームメーカーのポジション「ポイントガード」を任されるチームの司令塔です。「プレーが上手くいかない時こそ声を掛け合って盛り上げ、地元の強豪校に勝てるチームにしたい」と目標を語ります。

そして、「筑紫女学園は守備と走りを活かしたプレーが伝統。『声を出し合うことが何より大切』と先輩から教わりました」とはマネージャーの宮本知花さん(3年)。練習中も「声！声！」と、ひっきりなしに部員を励まします。さらに宮本さん曰く、「入浴後のストレッチ指導など部員の生活管理もマネージャーの責任。やっと一人ひとりに気配りできるようになりました」と頼もしい一言。コートの外でも努力を惜しまない彼女たちは、勝利への道を一步一步切り拓いていくはずだ。



## 文武両道に打ち込んだ経験を誇りにしてほしい

顧問／森田 雄英 先生



私が好きな言葉で、本校の聖典に記されている「一人の自己に“打ち勝つが実(げ)にすぐれたる”戦士なり」を、部訓の一部に引用しています。一人ひとりが技術、体力、何より精神力を磨かなければチームとして強くなれません。苦手なことは、自分を信じられるようになるまで練習するよう、指導しています。現状はどうあれ、全国大会に挑む強い意思を持ち続けてほしいので、試合前は選手に対し、「全員の思いを背負ってコートに立て、プレッシャーを楽しめるようになれば一流だ」と、あえて厳しい言葉をかけます。今や文武両道に励む高校生は少数派ですが、勉強も部活も悔いなく打ち込んだという自信は、きっとこれから彼女たちが生きていく上での力になると思います。

### DATA

#### 部員構成

3年生 9人

2年生 10人

1年生 6人

(平成23年4月現在)

## クラブ活動の成果

THE RECORD OF  
OUR CLUBS' ACTIVITIES



### 高等学校

#### ■陸上部

[ 全国都道府県対抗女子駅伝 ]

● 1月16日・京都府  
2区 区間賞 木村 友香 (福岡県チーム=3位)

[ 世界ジュニアクロスカントリー大会 ]

● 3月20日・スペイン  
6km 13位 木村 友香 (日本団体=3位)

[ 日本ジュニアユース選手権大会 ]

● 5月1日・石川県  
1500m 5位 由水 沙季  
3000m 1位 木村 友香 7位 園田 聖子  
5000m 3位 佐々木 伽歩

#### ■硬式テニス部

[ 第33回全国選抜高校テニス大会 ]

● 3月19日~25日・福岡県  
1回戦 本校 2 - 3 鳳凰(鹿児島)

#### ■ハンドボール部

[ 福岡県高等学校ハンドボール競技大会 ]

※兼 第61回・全九州高等学校体育大会福岡予選会

● 4月16日~24日・福岡県

##### 優勝

準々決勝 本校 28 - 9 明善  
準決勝 本校 29 - 21 西南学院  
決勝 本校 21 - 19 福岡女子商

※6月17日~19日に佐世保市で行われる九州大会に出場

#### ■放送部

[ 平成22年度高文連南北大会放送コンテスト ]

● 2月5日・福岡県

##### 優秀賞

アナウンス部門  
朗読部門 [朗読A] 4位 倉垣 舞子  
[朗読B] 3位 阿部 裕記  
[朗読C] 2位 吉田 奈央  
3位 濱崎 彩花  
5位 野副 まりな

#### 奨励賞

アナウンス部門 27位 天津 友里  
朗読部門 [朗読A] 6位 森 涼香  
14位 上町 明日実  
[朗読B] 6位 原 加奈  
12位 宮野 奈々子  
[朗読C] 8位 重松 侑里  
10位 西嶋 冴香

#### ■百人一首部

[ 第41回 太宰府かるた競技大会 ]

● 1月3日・福岡県

A級 4位 渡邊 美弓  
B級 準優勝 鶴田 紗恵

[ 第30回 全国かるた競技鹿児島大会 ]

● 3月20日・鹿児島県  
A級 4位 渡邊 美弓  
B級 3位 鶴田 紗恵 3位 中村 杏  
C級 3位 東 衣里香

[ 2011年 百人一首かるた競技プレ九州大会 ]

● 3月26日・熊本県  
[ 高校生の部 ] 優勝 筑紫女学園A

[ 第28回 全国かるた競技熊本大会 ]

● 4月24日・熊本県  
A級 3位 渡邊 美弓

学園だより

# 幼稚園

News from Kindergarten/SNAP×SNAP/Cover Story

NEWS

警固キャンパス隣接地の森に  
誕生した遊歩道

## 「響流こゝろの森」を散策

遊歩道に入ったとたん  
猛ダツシュの子どもたち

警固 キャンパスに隣接する  
広い森の整備が、昨  
年末から行われ、3月中旬に  
遊歩道ができ上がりました。

小学校入学目前の年長さ  
んたちは、卒園する前に森  
に入りたいと、この日を楽  
しみに待っていました。何  
十年もこの警固の地で緑を  
育んできた森。入り口の階  
段を上り、足を踏み入れる  
と、高い木々の間や葉の間  
から、いく筋もの光が射し  
ています。

ゆつくり森を味わっても  
らおうと子どもたちを連れ  
て行ったのですが、遊歩道  
に足を踏み入れたとたん、  
ダツシュ、猛ダツシュ！…  
どんだん走って森の奥へと  
入って行きました。嬉しく

て、嬉しくてたまらなかつた  
のでしよう。待ちかねて  
いた気持ちを爆発させるか  
のようでした。

### ここが都心とは思えない 贅沢な空間

少 し広い場所に来ると、  
木のうろや曲がりくね  
った枝などを目ざとく見  
つけ、くぐったりぶらさがつた  
り、何度も何度も繰り返し遊  
んでいました。森に入ると子  
どもはもちろん、大人も森の  
においを感じる事ができ  
ます。そして、緑のなかで自  
然の音を聞くことができる  
のです。都心にあるとは思え  
ない贅沢な空間です。

これから、この森で自然  
の中に身を委ね、緑のシャ  
ワーを浴びながら、ゆつ  
りとした時間を過ごしたり、  
冒険したり、木の実や葉つ

ばを拾ったり、植物の名前  
を調べたりなど、森と向き  
合った様々な活動ができそ  
うです。皆で楽しみに計画  
していきたいと思えます。

そして、この森は、讃佛偈  
の響流十方から響流を頂  
き、「響流の森」と決まりま  
した。子どもたちの声が響  
き流れ、呼応しあい、こだま  
していく。子どもたちに対  
する学園の願いが響き渡つ  
ていく。そんな願いを持つ  
て、響流の森で思いつきり  
子どもたちと遊んでいき  
たいと思えます。

ほんのわずかな時間でし  
たが、森を満喫した子ども  
たちは離れがたい様子で森  
の階段を下りて行きました。



▲遊歩道を駆け抜ける園児たち。

Contents

- NEWS / 新たな遊歩道「響流の森」を散策
- SNAP×SNAP / 2011年 春編
- 表紙のこと / 山路夏生さん(人間科学部人間科学科・人間関係専攻発達臨床心理コース1年)

ようちえん's

## SNAP×SNAP in Spring

1月27日「お茶会」



いつも元気な子どもたちも、今日は「静」の  
時間です。

3月11日  
「お別れパーティー」



皆でランチバイキング、おなかいっぱい！

2月25日  
「ミニコンサート」



みんなの心と音を合わせて…

2月5日  
「竹馬ひろう会」



竹馬の技を披露したあとは、アツアツの豚汁  
がおいしい！

2月11日  
「年少さん・劇あそび」



耳やしっぽをつけると、動物に変身!!

表紙のこと

今回の表紙は、この春に本学園高等学校を卒業後、新設の大学・人間科学部人間科学科・人間関係専攻発達臨床心理コースへ入学した山路夏生(やまじなつみ)さんをモデルに、入学式直後に撮影。「心理学に興味があった」ことに加え、「高校時代から筑女は先生と学生の関係が近い学校」と感じていたことから、本学進学を決めたという山路さん。「まずはしっかり勉強して、将来の仕事に活かすことができれば…」と抱負を語ってくれました。

# 筑紫女学園 からの お知らせ ①

Information 1

平成23年4月1日付で、大学人間科学部長に、次の方が就任されました。



大学 人間科学部長  
板井 修一

## 【略歴】

- 昭和53年3月 広島大学大学院教育学研究科修士課程 幼児学専攻 修了
- 昭和50年4月 国立療養所銀水園 児童指導員
- 同 53年4月 久留米大学学生相談室 非常勤講師
- 同 55年11月 福岡県精神保健福祉センター 心理判定員
- 平成11年4月 筑紫女学園大学 助教
- 平成14年4月 筑紫女学園大学 教授
- 同 21年4月 筑紫女学園大学大学院 人間科学研究科長
- 同 21年4月 学校法人筑紫女学園 評議員就任

## 人事

再任  
幼稚園 園長  
笠 唯信  
(平成23年4月1日付)

任命  
大学 人間科学部長  
板井 修一  
(平成23年4月1日付)  
大学 (人間科学研究科長)

大学・短期大学部 宗教育部長  
宇野 智行

採用  
●教育職員  
大学 (文学部)  
日本語・日本文学科  
准教授 小林 俊江  
アジア文化学科 特任教授 小山 一行  
(平成23年4月1日付)

大学 (人間科学部)  
人間関係専攻 講師 宇治 和貴  
人間形成専攻 教授 手嶋 俊明  
准教授 一木 信治  
准教授 北原 幸子  
准教授 松本 和寿  
准教授 稲田 八穂  
准教授 飯塚恭一郎

短期大学部 講師 近藤 義博  
幼児教育科 講師 古賀 夏奈  
高等学校 非常勤講師 児嶋 菜緒  
常勤講師 渡邊 綾子  
常勤講師 吉村 千尋

幼稚園 教諭 兒嶋 菜緒

教諭 渡邊 綾子

教諭 吉村 千尋

事務職員  
大学・短期大学部 学生課 海老原泰仁  
実習支援課 坂井 和美  
中学・高等学校 三苦 佳子

法人本部 管財課 水月 昭道

●労務職員  
中学・高等学校 庶務会計課 特任労務職員 吉岡由美子  
(平成23年4月1日付)

昇任  
●教育職員  
大学 (文学部)  
日本語・日本文学科 教授 時里 泰明  
英語学科 教授 大城 房美  
短期大学部 教授 永大 欣也  
幼児教育科 教授

●事務職員  
大学・短期大学部 進路支援課 課長 井上奈美子  
学生課 課長補佐 白水 尚子  
教務課 課長補佐 中島由美子  
情報メディア課 課長補佐 寺田 亮子  
企画室 主任 原田 真  
庶務課 主任 山崎 明美  
中学・高等学校 庶務会計課 主任 大江 陽子  
法人本部 総務課 課長 廣渡香奈子  
課長補佐 吉村 ルミ  
経理課 主任 平井 和宏  
主任 福富 真悟  
主任 一矢 直子

昇任・異動  
●教育職員  
大学 (人間科学部)  
人間関係専攻 教授 大元 千種  
人間形成専攻 教授 榑 祐子  
人間関係専攻 准教授

事務職員  
大学・短期大学部 事務課 假屋 幸康  
実習支援課 主任 田中喜久子  
中学・高等学校 庶務会計課 主任 松尾 明宏  
法人本部 企画広報課 主任 米嶋 寛行

異動  
●教育職員  
大学 (人間科学部)  
人間関係専攻 教授 池田 和彦  
教授 小川 直樹  
教授 浅田 淳一  
教授 酒井 均  
教授 村本 洵子  
教授 小山 宏子  
教授 西原 尚之  
教授 山崎 安則  
教授 徳永 勇  
教授 洪田登美子  
教授 持尾 弘司  
教授 原田 理香  
教授 新家めぐみ  
教授 牧野 桂一  
教授 板井 修一  
教授 中川 正法  
教授 古賀野 卓  
教授 安恒 万記  
教授 宮平 喬  
教授 江玉 陸美  
教授 犬丸 昭弘  
教授 竹本光一郎  
教授 友重雄一郎  
教授 平 孔龍  
教授 眞武 香  
教授 伊東 絵美

●事務職員  
大学・短期大学部 入試課 課長 河本 博史  
実習支援課 課長 八谷俊一郎

兼務  
大学・短期大学部 企画室 室長 吉井 清  
生涯学習課 課長 徳田 孝  
法人本部 管財課 課長 中村 泰隆  
兼務を解く  
大学・短期大学部 宗教育部長 小山 一行  
大学・短期大学部 事務長 金子 修三  
(平成23年3月31日付)

退職  
●教育職員  
大学 (文学部)  
日本語・日本文学科 教授 川邊 武芳  
アジア文化学科 教授 小山 一行  
人間福祉学科 准教授 中西 直樹  
日本語・日本文学科 特任教授 迫野 虔徳  
発達臨床心理学科 特任准教授 手嶋 正和

短期大学部 特任教授 冷川 昌彦  
幼児教育科 教諭 井上 正克  
高等学校 教諭 鍋島 恵  
常勤講師 伊藤かおる  
常勤講師 阿部 春加  
常勤講師 福嶋 幸子  
中学校 教諭 福嶋 幸子

●事務職員  
大学・短期大学部 学生課 課長補佐 宇根 治  
庶務会計課 三苦 佳子  
法人本部 企画広報課 室長 河村 邦彦

●労務職員  
中学・高等学校 庶務会計課 吉岡由美子

本号には特別版として、「新任者からの「あいさつ」」を別紙添付しています。そちらもあわせてご覧ください。

理事会・評議会  
就任  
(平成23年4月1日付)  
評議員 假屋 幸康  
(大学・短期大学部事務長)

# 卒業生からの手紙



## 厳しかったけれど、学校に行くのが 楽しくて仕方なかった筑女時代

高校OG・倉林里実(文藝春秋「CREA」編集長)

### 友達との絆を 深めてくれたのは 校則のおかげ?

数 えてみたら、卒業して二十  
ウン年経ちました。とても  
信じられませんが、今は「CR  
EA」という女性誌の編集長と  
して毎日バタバタと過ごして  
おります。

私自身、生まれは関西なので  
すが、「ふるさととは?」と聞かれ  
ると、「福岡!」と答えます。今も  
分り合える友達や、相談に  
のつてくださる先生方がい  
らっしゃる場所だから。それは  
すべて筑女で知り合った方々  
ばかりです。

高校生だった当時、私にとつ  
て筑女の校則はとても厳しく  
感じられました。スカートは絶  
対にひざ丈、リボンは大きすぎ  
ず小さすぎずふんわり結ぶ、放  
課後に天神へ出かけてはいけ  
ない、クリスマスパーティーは

ダメ、男女交際はNGなどな  
ど。思いっきり遊びたい女子  
たちには息苦しいものばかり  
でした。

でも、その厳しさが友達との  
絆を深めてくれたのかもしれ  
ません。制服を楽しむなら正し  
く楽しもう、似合う日傘はない  
かな、クリスマスがダメならお  
釈迦様の誕生日に盛大にパー  
ティーしよう、とひと味違った  
イベントに。書きながら思い出  
し笑いでできるほど、毎日、学校  
へ行くのが楽しくて仕方がな  
かったです。

パワフルで、何かと意見を言  
いたい私たちに、先生方も真剣  
に向き合ってくださいました。  
なぜ仏教を学ぶ必要があるの  
か、現代史に学ぶべきことは何  
か。授業が終わっても私たちが  
質問攻め。白熱教室さながらの  
展開に、授業はいつも教科書  
どおりに進みませんでした。

### 真剣で熱い思いが ぶつかり合う中で 過ごせたことの幸せ

社 会人になってようやく  
づいたのですが、厳しい環  
境というのは、学校や先生方に  
重い責任と真剣な思いがあつ  
て作られます。いい加減な気持  
ちでは作り出せません。当時、  
私の担任だった松崎校長先生  
から、実はあの時、職員たちは  
こういう思いで話し合ってい  
たんだよ、と聞くことがありま  
す。熱い思いのなかで多くの時  
間を過ごすことができ、感謝す  
ると同時に、本当に幸せだつた  
と思います。

私と友達は仲が良いわりに、  
卒業したら友達関係は自然消  
滅かもね、なんてドライに言っ  
ていました。それが今でも続く  
長い関係に。数年に一回、連  
絡を取るくらいなのに、会えば  
まったく変わらず話し、笑い、



倉林さんの  
思い出の  
1枚

▲高校2年生の体育祭における「部活  
別リレー」の時のひとコマ(写真右が  
倉林さん)。

甘えることのでき  
る仲間です。最近、  
先生方とはお酒を  
飲むことがありま  
す。人に伝える、と  
いう面では教えも  
編集も同じかも  
しれません。仕事  
の話で大いに盛り  
上がります。

お金では買えない人間関係。  
すべて筑女が培ってくれました。  
よく卒業生の方々からあの  
時はよかった、という話を聞き、  
高校生の私は、本当にそうかな、  
と反発した気持ちでいました。  
同じように感じられる方はい  
らっしゃると思います。でも、安心  
してください。私も疑問に思い  
ながら、先輩方と同じ結論に至  
りました。

筑女だったら、大丈夫。いい  
思い出になる学園生活を絶対  
に送ることが出来ます!



**Profile**  
●くらばやしさとみ  
1987年(昭和62年)  
卒(高等学校)。立教  
大学経済学部経済  
学専攻卒業後、株式  
会社山一証券国際  
金融部、株式会社芝  
パーク出版「saita」  
編集長を経て、2008年(平成20年)、株式  
会社文藝春秋「CREA」編集部へ。2010  
年(平成22年)、同誌編集長に就任。

金融部、株式会社芝  
パーク出版「saita」  
編集長を経て、2008年(平成20年)、株式  
会社文藝春秋「CREA」編集部へ。2010  
年(平成22年)、同誌編集長に就任。

筑紫女学園からの  
お知らせ②  
Information 2

寄付  
(願不同)

左記のとおりご寄付を頂きました。  
紙上、お礼とご報告をいたします。

●学園奨学金  
金 一〇〇,〇〇〇円  
川邊 武芳様  
(退職記念)

●寄付金  
金 三〇,〇〇〇円  
アキコ・トライチエスカ様  
(本学園高等学校教育充実のため)

金 二一,六〇〇,〇〇〇円  
中学・高等学校後援会様  
(教育助成費 中学・高校同調理室調理台  
入れ替え工事一式とし)

●寄贈  
中学・高等学校へ  
シャープ加湿空気清浄機(保健室)  
中学・高等学校父母教師会様

幼稚園へ  
ポータブルアンブワイヤレスアンブ、  
マイク(遊戯室)  
幼稚園保護者会様

称号授与  
(平成23年3月18日付)  
大学名誉教授  
小山 一行

表彰  
(平成23年3月22日表彰)  
九州運動記者クラブ表彰  
「稲尾和久賞」受賞  
法人本部 企画広報課 室長 高校陸上部監督  
河村 邦彦

## TOPICS 「九州・アジア経営塾」 碧樹館プログラムに 今年度も本学園職員が参加!

昨年初めて本学園から職員が参加した碧樹館プログラム(NPO  
法人「九州・アジア経営塾[通称:KAIL]」主催)に、今年度は大学・  
進路支援課の矢幡敏男さんが参加することになりました。

このプログラムは、九州経済の自立とアジアの近未来を見据  
えた、次世代リーダーの養成を目的に平成16年から実施されて  
おり、今年で8期目を迎えます。

6月から約11カ月間にわたり、原則隔週土日のセッションを  
はじめ、合宿や研修旅行など、約230時間の講義や討議の場が  
設けられ、地元企業を中心に入塾された皆さんがお互いに切磋  
琢磨しながら、自らの「基軸」を作り上げていきます。

培われた知識や価値観、創造  
力が学園に還元され、さらに充  
実した教育活動へ繋がっていく  
ことを期待しています。



▲九州・アジア経営塾ホームページ  
<http://www.kail.jp/>